



株式会社カプコン
(東証一部:9697)

2014年3月期第2四半期
決算短信補足資料

将来の見通しに関する注意事項

この資料に記載されている経営戦略、計画や見通しなどは、過去の事実を除いて将来の予測であり、現時点において入手可能な情報や合理的判断の根拠とする一定の前提条件に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因によって、これら見通しとは大きく変動する場合があります。

また、当社を含め当業界は、ユーザーニーズの多様化など、市場環境の変化によっては業績が大きく振れる可能性があります。

業績等の変動要因としては、①売上高の過半数を占める家庭用ゲームソフトのヒットの有無や販売本数の多寡、②家庭用ゲームソフト開発の進捗状況、③家庭用ゲーム機の普及動向、④海外市場の売上状況、⑤株価、為替動向、⑥他社との開発、販売、業務提携、⑦市場環境の変化などが挙げられます。

また、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

< 目次 >

1. 連結損益計算書 ……P3
2. 連結貸借対照表 ……P7
3. 連結キャッシュ・フロー計算書 ……P9

1. 2014年3月期第2四半期 連結損益計算書

2014年3月期第2四半期 連結損益計算書

■ 2012/9実績 対 2013/9実績

(単位:百万円)

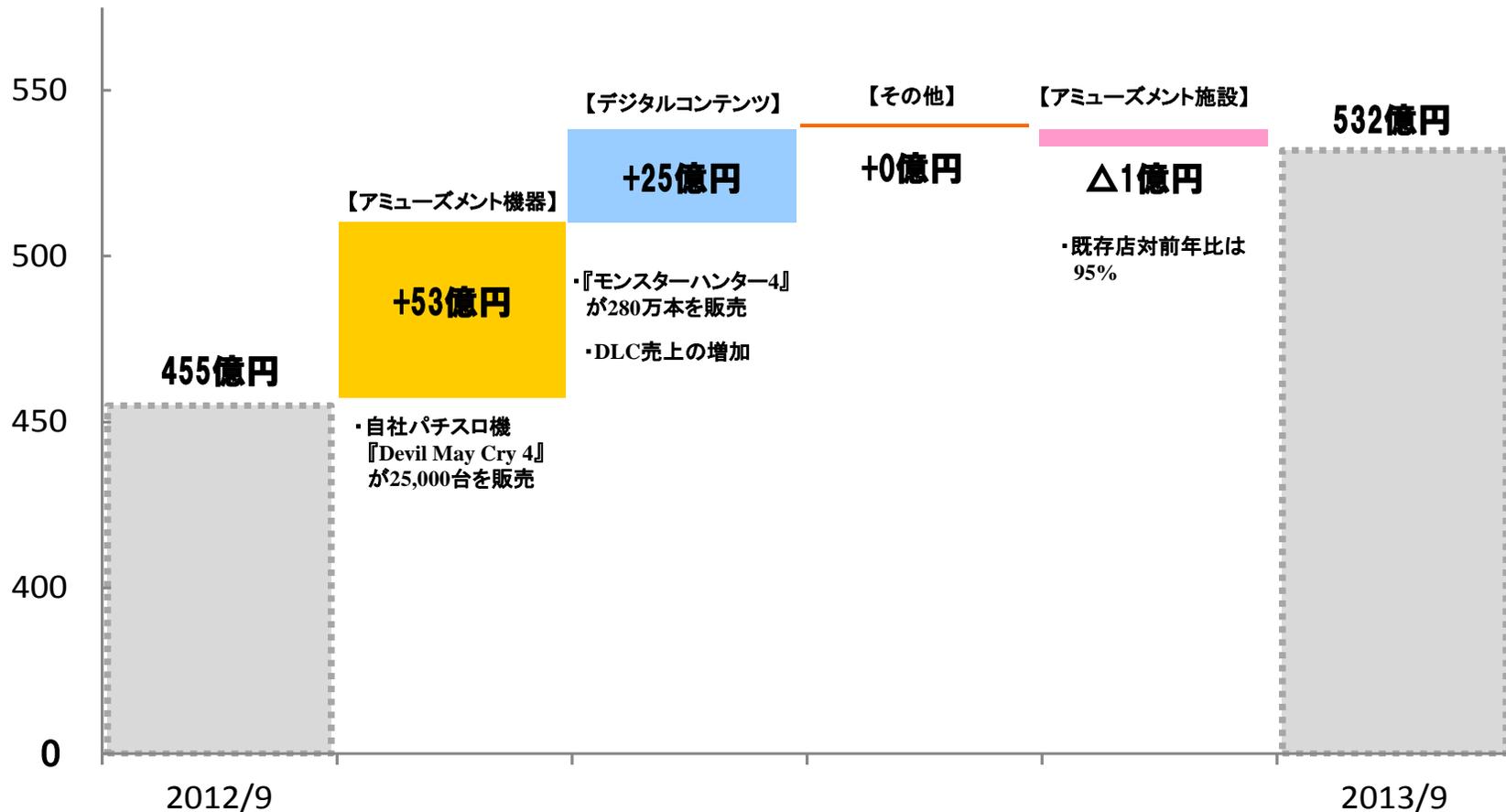
	2012/9	2013/9	増減
売上高	45,538	53,234	7,696
営業利益	6,515	7,509	994
経常利益	6,076	8,190	2,114
四半期純利益	4,125	4,950	825

- デジタルコンテンツ事業における大型タイトルおよび自社パチスロ機の発売を主因とし、すべての項目において前年同期比で増収増益
- 全項目において当社第2四半期業績(累計)の過去最高を更新
- 通期業績の達成に向け、概ね計画どおりの進捗

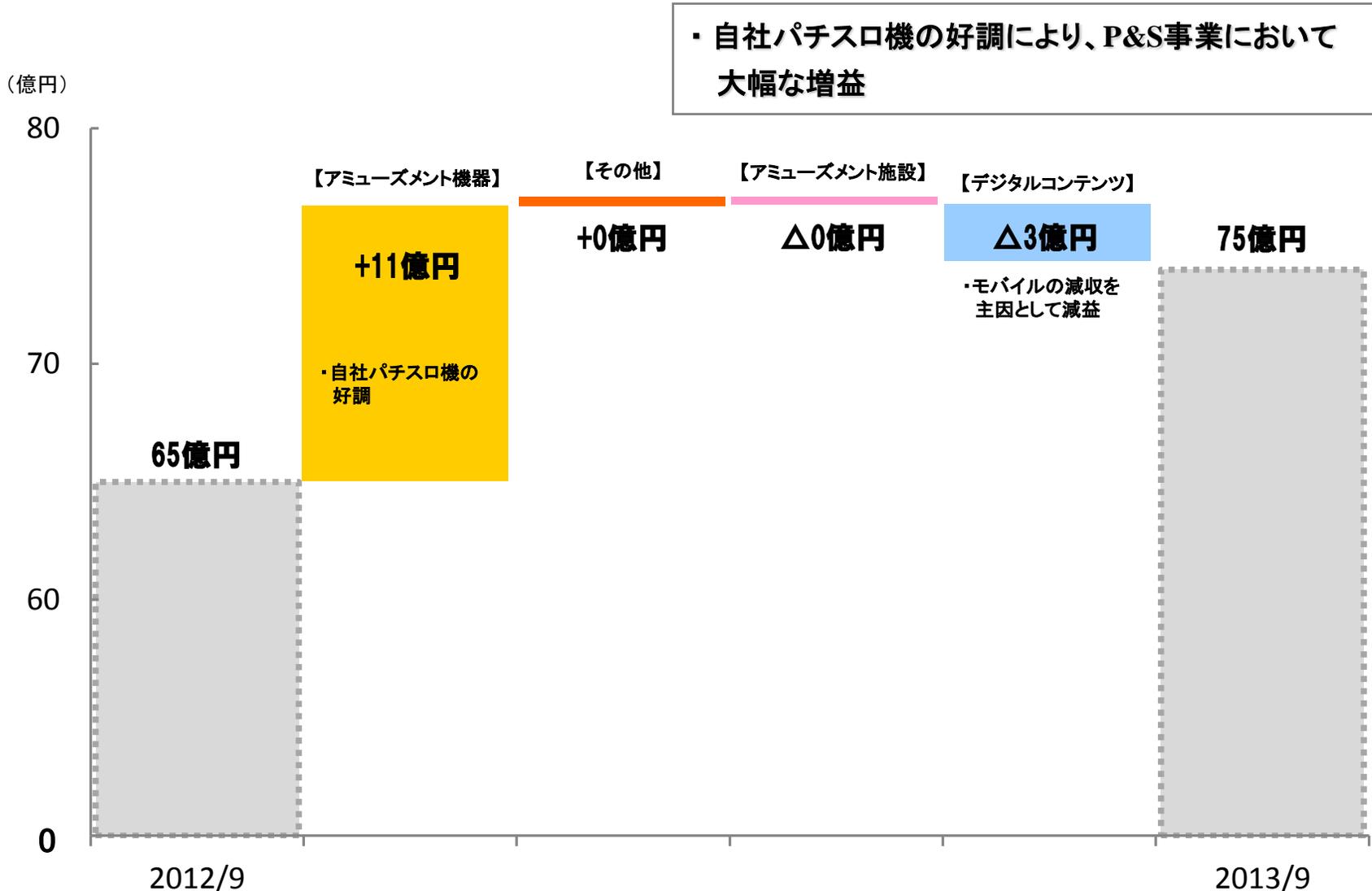
■ 2013/9 売上高増減要因

- ・ デジタルコンテンツ事業での大型タイトル発売および DLCの成長による増収
- ・ 自社パチスロ機の投入によるP&S事業の大幅な増収

(億円)



■ 2013/9 営業利益増減要因



2. 2014年3月期第2四半期 連結貸借対照表

2014年3月期第2四半期 連結貸借対照表

■ 貸借対照表 主要変動項目

(単位:百万円)

資産の部	2013/3	2013/9	増減
受取手形及び売掛金	11,687	19,901	8,214
ゲームソフト仕掛品	18,888	13,693	-5,195

(1) 受取手形及び売掛金

当四半期末月における大型タイトルおよび自社パチスロ機の発売による増加

(2) ゲームソフト仕掛品

大型タイトルを含む複数タイトルの発売による減少

(単位:百万円)

純資産の部	2013/3	2013/9	増減
自己株式	-15,848	-18,132	-2,284

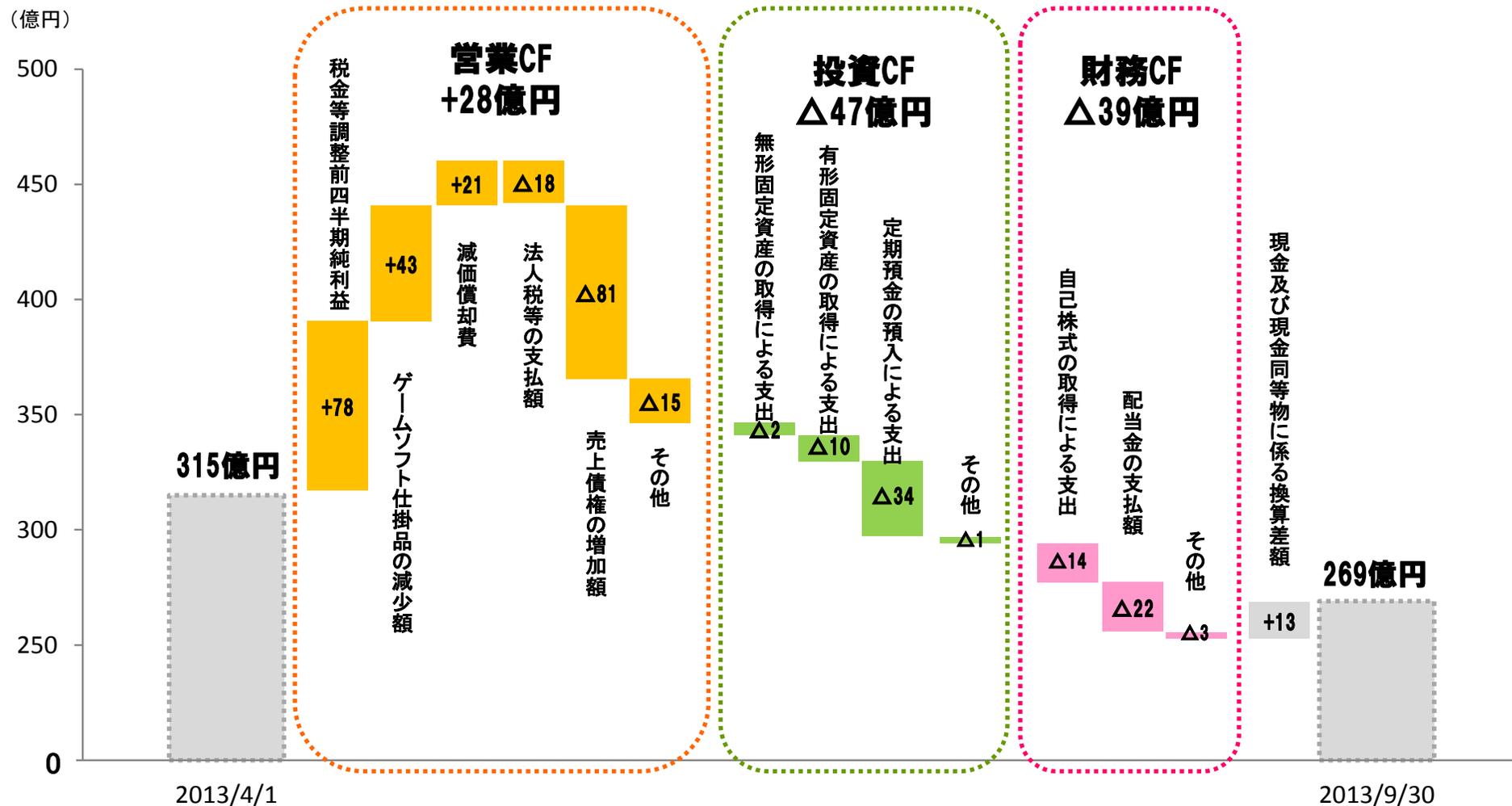
(3) 自己株式

第1四半期において自己株式を取得(1,347,200株)したことによる減少

3. 2014年3月期第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

2014年3月期第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

■ 2013/9 キャッシュフロー計算書 増減要因





CAPCOM